

全国学力・学習状況調査結果

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果(本校の概要)

1 概要

(1) 調査の目的

本調査は、全小中学校を対象にした調査であり、目的は、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」(実施要領より)です。

本校では、この趣旨に基づき、調査結果を踏まえ、教育計画等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導の充実に努めてまいります。さらに結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、児童生徒の学習状況の改善にご理解をいただき、今後も引き続き学校教育にご協力ご支援をいただきたく存じます。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

- (2) 実施月日 平成27年4月21日(火)
- (3) 実施学年 第6学年
- (4) 実施教科等 国語A(主として「知識」に関する問題)
国語B(主として「活用」に関する問題)
算数A(主として「知識」に関する問題)
算数B(主として「活用」に関する問題)
理科(主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題)
- (5) 質問紙調査(学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査)

2 実施教科における全国・埼玉県・狭山市の平均正答率

平均正答率	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
埼玉県	68.7	64.2	73.1	43.1	59.2
狭山市	66.7	60.7	71.5	40.7	56.2
御狩場小	71.3	67.5	73.5	46.1	54.9

3 考察

【国語A・B】

- ・A・B共に、本校の平均正答率は、全国・埼玉県・狭山市の平均を上回っている。
- ・無回答率が全国や県と同レベルである。学習意欲を高めつつ、根気強く課題に取り組める態度の育成を図る必要があることから、言語活動を取り入れたわかる授業を実践する。

【算数A・B】

- ・Aについては、県平均と同レベルである。
- ・Bについては、全国・埼玉県・狭山市の平均を上回っている。

【理科】

- ・知識、活用に関する問題とも、全国・埼玉県・狭山市の平均を下回っている。実験器具の名称やその扱い方については、実験・観察を通して、ていねいに指導する必要がある。

【質問紙調査】

- ・算数の授業内容を理解している割合が全国・埼玉県に比べ大きく下回っている。具体的操作を取り入れるなど、学習意欲を高め、わかる・できる授業を実践する。
- ・「学校に行くのが楽しい」と答えている割合が全国・埼玉県に比べ大きく上回っている。今後もQ-U検査等を活かし、児童生徒理解を深め、居心地良く、意欲を持って活動に取り組む学級集団を築いていく。また、このことを学習意欲の向上、さらに学力の向上につなげるように職員研修に努め、授業力を向上させる。
- ・「地域の行事に参加している」児童の割合が、全国・埼玉県に比べ大きく下回っている。地域家庭の協力を得ながら、全教育活動を通して「ふるさと意識」の向上を目指したい。